

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和2年度

先導的な地域医療の活性化（ライフイノベーション）総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成26年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.5+4.5)/2=4.5$

4.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	医師不足対策及び在宅医療の推進	109%	5
2	糖尿病対策の推進	85%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4.5$

4.5

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa: 5・20%、b: 4・10%、c: 3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.6+3.4+3.6)/3=3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.6

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.4

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.6

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・徳島県の医療を担う人材育成と糖尿病関連医療製品の開発が着実に進んでいることは評価できる。
- ・コロナ禍の状況にありながら糖尿病対策を推進されているのは評価に値する。
- ・地域独自の取組や規制の特例措置を活用した取組を通じて、医療従事者の養成・確保、遠隔医療の推進、患者アクセスの改善など、医療の偏在の解消に向け、多方面から着実に進めている点が高く評価できる。
- ・医療人材育成と糖尿病対策という二つの事業の連携が行われているかどうかを示すために、徳島県特有の健康医療課題の解決に注力する医師(地域医療や糖尿病医療など)をどれだけ育成できているかについて評価することも検討いただきたい。
- ・アウトカム創出への総合的な取組がみられる点に注目しつつ、その指標化への挑戦にこれまで同様に期待したい。
- ・「糖尿病克服モデルを全国に発信し、日本はもとより世界中の糖尿病の克服に還元」に向けて、具体的な活動モデルが可視化されると良いと思う。特定行為研修修了者の活動内容が見えない。県民の歩行数を指標化する試みは良いが、実現してほしい。イベント参加は1日のみなので成果は限られるだろう。今後は、透析移行者数など具体的なアウトカム指標を用いた目的の遂行を期待したい。
- ・地域医療の充実が喫緊の課題であることは理解する一方で、医師の能力・スキルアップの側面からは、専門的施設での研修(国内外留学など)も重要になってくると思われる。
- ・生活習慣病ともいえる糖尿病への取組には持続可能性が必要と思われ、本事業に参加された受講者のその後の経過について包括的にフォローアップする体制の構築とアウトカムの共有が望まれる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.5+3.5+4 \times 2) \div 4=4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。